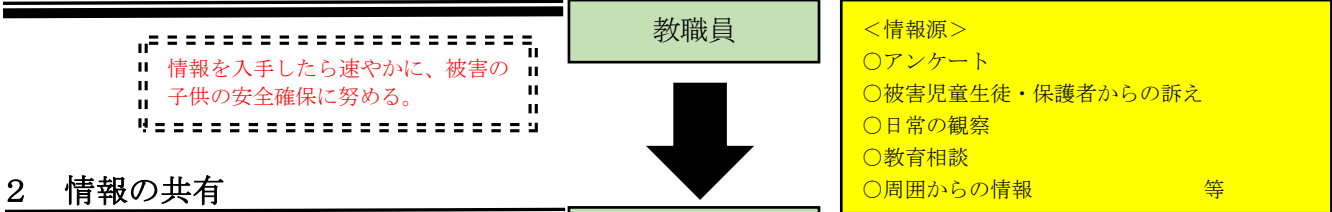


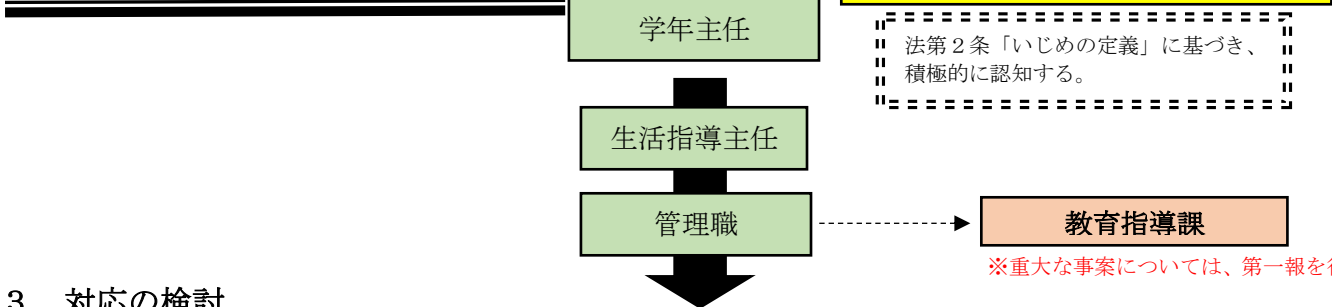
# いじめ対応フローチャート（案）

○「いじめ防止対策推進法」（以下法）および「いじめ防止等のための基本的な方針」（以下方針）に基づき、いじめの疑いのある事案については全て以下のフローチャートに沿って対応する。

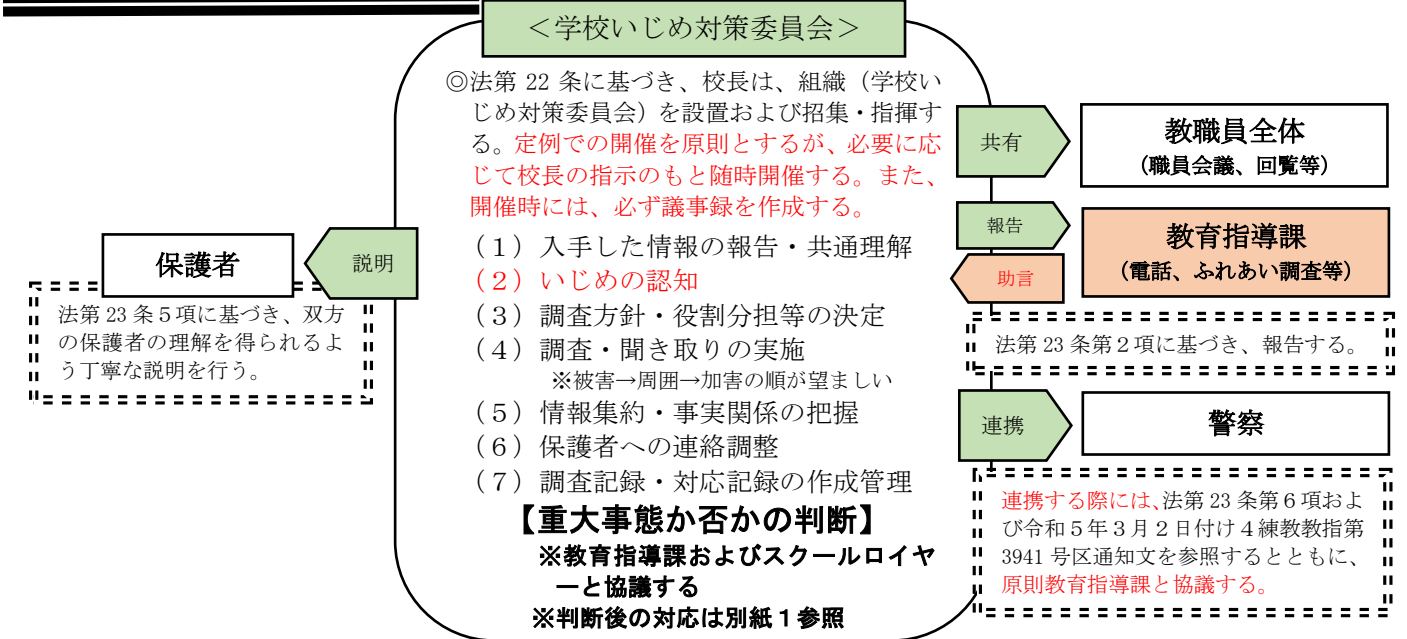
## 1 情報の入手



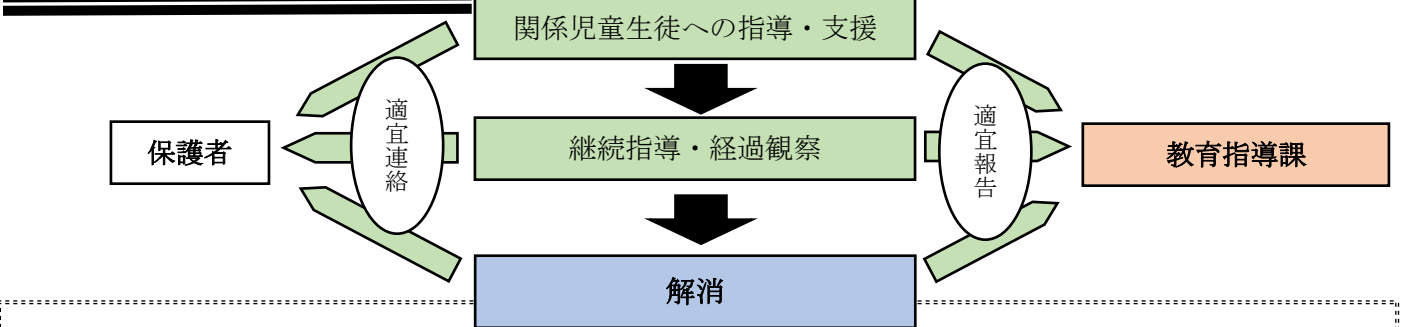
## 2 情報の共有



## 3 対応の検討



## 4 組織的な指導・支援



いじめが「解消している」状態とは、少なくとも次の2つの要件が満たされている必要がある。

①被害者に対するいじめ行為が止んでいる状態が少なくとも3ヶ月継続していること。

②被害者がいじめの行為により心身の苦痛を感じていないことが被害者およびその保護者との面談等により認められること。

※「学校いじめ対策委員会」が被害児童生徒の状況等を総合的に検討した上で、校長が判断する。

【方針（4）学校におけるいじめの防止等に関する措置 iii）いじめに対する措置】